

加工食品の物価及び生産・販売動向

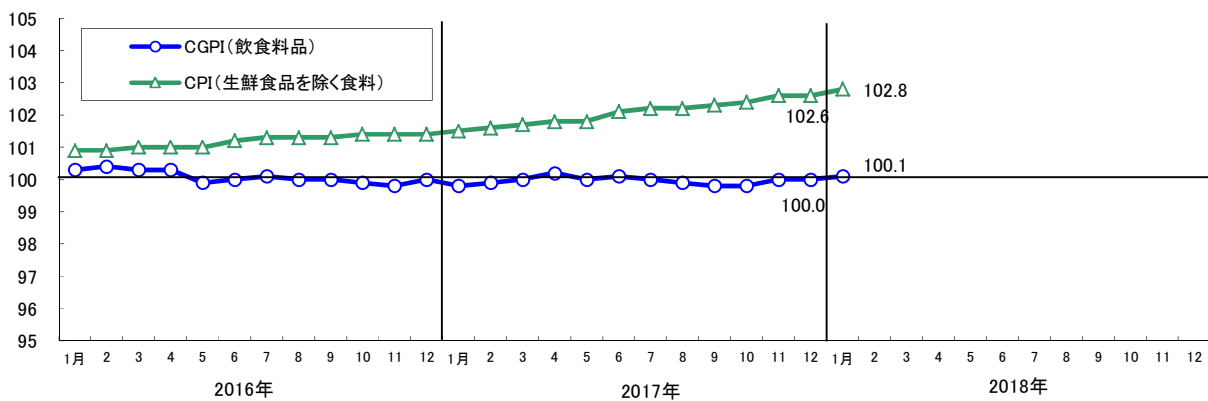
1 加工食品の企業物価及び消費者物価

企業物価は概ね横ばい傾向、消費者物価は上昇傾向

加工食品の企業物価指数は、概ね横ばいで推移している。一方、消費者物価指数（生鮮食品を除く食料）は同 102.8 で、緩やかに上昇傾向となっている。

図1 加工食品の企業物価指数、消費者物価指数

2015年=100



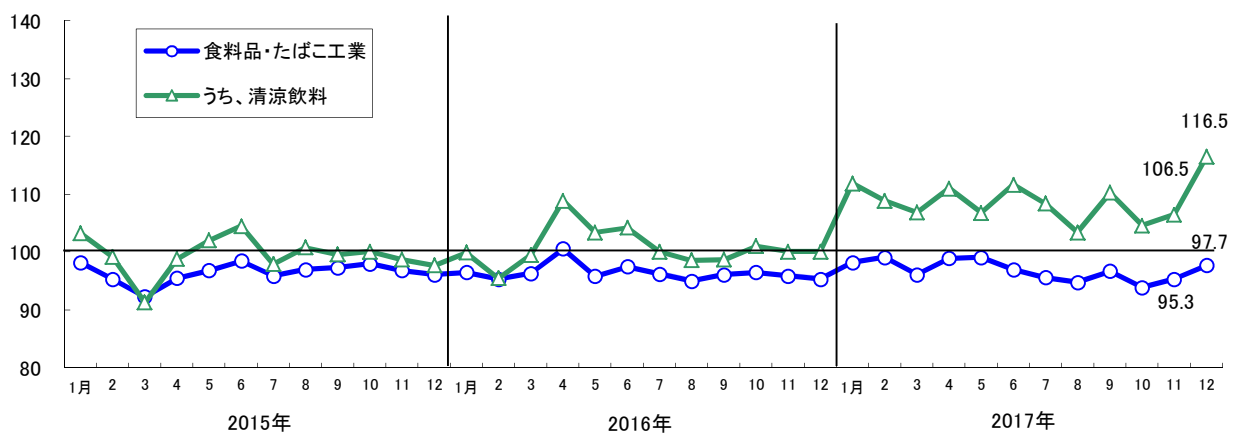
資料: 日本銀行「企業物価指数」、総務省「消費者物価指数」

2 食品製造業の生産動向

食料品・たばこは前月比でわずかに上昇、清涼飲料はかなりの程度上昇

2018年12月の食料品・たばこ工業の生産指数は、97.7で前月比2.5%とわずかに上昇した。うち、清涼飲料は116.5で前月比9.4%とかなりの程度上昇した。

図2 食料品・たばこ工業、清涼飲料の鉱工業生産指数の推移 2010年=100 季節調整済



資料: 経済産業省「鉱工業生産指数」

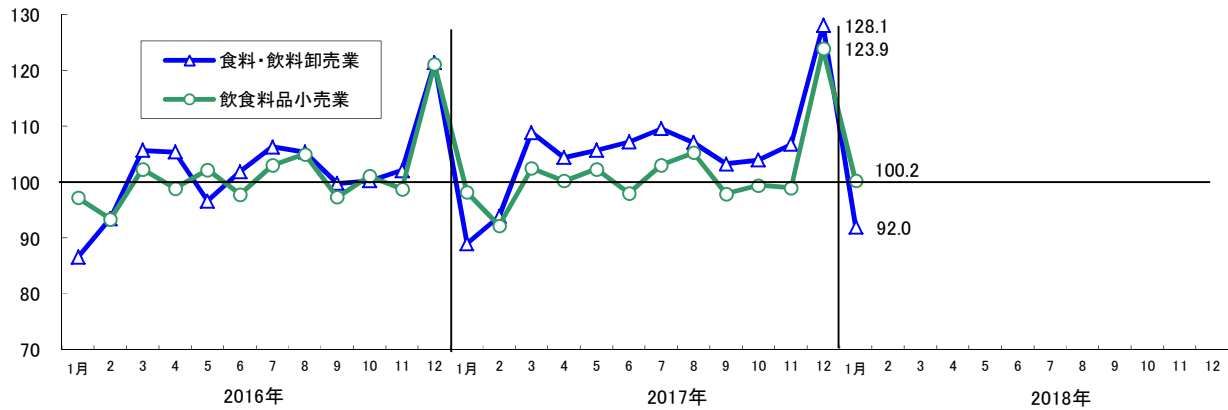
3 卸売業と小売業の販売動向

卸売業販売額は対前年同月比でわずかに上昇、小売業販売額はやや上昇

2018年1月の食料・飲料卸売業の販売額指数は100.2で対前年同月比2.0%とわずかに上昇した。
 飲食料品小売業の販売額指数は92.0で同3.4%とやや上昇した。

図3 食料・飲料卸売業と飲食料品小売業の販売動向

2015年=100



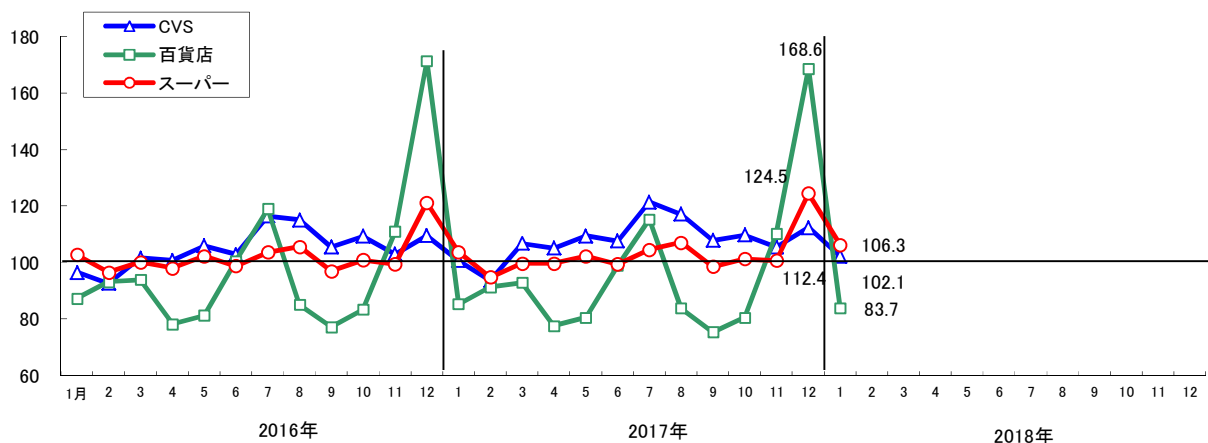
資料:経済産業省「商業販売統計」

4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向

CVS及びスーパーは対前年同月比でわずかに上昇、百貨店は同わずかに低下

2018年1月のコンビニエンスストア、百貨店、スーパーにおける加工食品の販売動向についてみると、コンビニエンスストアは102.1で対前年同月比1.5%とわずかに上昇、スーパーは106.3で前年同月比2.5%とわずかに上昇、百貨店は83.7で前年同月比▲1.8%とわずかに低下した。

図4 スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の加工食品の販売動向 2015年=100



資料:経済産業省「商業販売統計」

注:コンビニエンスストアはFFと加工食品の合計。百貨店及びスーパーは飲食料品。